



## ニュースレター



2022年8月号



今月の1枚  
「土用の日“うなぎ”」

### 当院来院の患者さま

● 片頭痛	2357名
● 緊張型頭痛	1675名
● 群発頭痛	88名
● 薬剤の使用過多による頭痛	149名
● 三叉神経痛等の神経痛	525名
● 可逆性脳血管攣縮症候群	42名
● 脳卒中	
● 脳動脈瘤	126名
● 虚血性疾患(脳梗塞など)	695名
● 出血性疾患(脳出血など)	87名
● 脳動脈解離	34名
● 脳腫瘍	176名
● パーキンソン病・振戦	169名
● 顔面けいれんなど	46名
● 頭部外傷	549名
● めまい	1554名
● 認知症	306名
● 痙縮・痙性斜頸	22名
● ボトックス治療	43名
● 脳ドック	39名
● CGRP治療	49名

2020.11.1~2021.10.31の期間

おおば脳神経外科・頭痛クリニック

院長: 大場 寛

〒870-0831 大分市要町 8-16

電話: (097) 578-8333

FAX: (097) 578-8318

E-Mail: [clinic@oobanougeka.com](mailto:clinic@oobanougeka.com)

URL: <https://oobanougeka.com>



### クリニックから皆さまへ

8月になります。最近は、めっきり夏日ですね。とても暑い日が増えてまいりました。この暑さに負けないよう、土用の日はうなぎを食べました。トキハデパートで、1100円(税込み)でした。とても美味しかったので今月の1枚は“うなぎ”にしました。

ところで、この時期に注意が必要になるのは、「脳梗塞」と「熱中症」です。ニュースレターでも取り上げています。ご参照していただければ、幸いです。

また新型コロナウイルスにも注意が必要です。特にオミクロン BA5 株は感染力が強く、感染者数も増加傾向です(7月25日現在)。その一方、感染対策に目新しいものはなく、マスクや手洗い実施、3密(密閉・密集・密接)回避、そして十分な換気が推奨されています。いかに徹底できるかが、感染対策として大切です。

#### 当クリニックにおける

#### 新型コロナウイルスの感染予防方針

1. 標準予防策に加え、接触、飛沫予防策として、マスクの着用を含む咳エチケット、手洗いによる手指衛生、アルコール等による環境消毒をおこなう。
2. 診察室をはじめクリニック内は十分換気する。
3. N95マスクや防護具の流通不足からエアロゾル発生が懸念される手技(特に咽頭および喀痰検体採取)は、これを実施しない。
4. 出勤前に体温を計測し、37.5度以上の場合には、出勤を行わない。
5. 当職員は上記を遵守し、必要に応じ患者さまご家族さま、委託業者さまにも協力をお願いする。
6. 血圧計やCT/MRI機器は、使用の度に80%濃度のアルコール消毒を行う。
7. 顔に使用するタオルは、コロナウイルスが死滅する80°C10分以上の煮沸消毒を行い、お一人お一人に個別に使用する。
8. 3密を避けるため、待合室の椅子に間隔を設ける。
9. 患者さまご家族さま、付き添いの方に院内での検温とマスク着用をお願いする。
10. MRI撮影時は、マスク着用を実施する。

院長

### 「片頭痛のオンライン診療の日程のお知らせ」

8月6日(土)・9月3日(土)に、片頭痛のオンライン診療を行います。

詳しくは、クリニックのホームページをご覧ください。



### 「夏季休診のお知らせ」

8月11日(木)から15日(月)は、夏季休診になります。よろしくお申し上げます。



## 「脳梗塞について」

脳梗塞は、脳の血管が詰まり手足の麻痺や言葉の障害、意識障害等をきたす病気です。

小さな動脈が詰まる「ラクナ梗塞」、比較的大きな動脈が詰まる「アテローム血栓性脳梗塞」、心臓にできた血栓が流れ込む「心原性脳塞栓症」があります。

「脳卒中データバンク」という資料から、特に8月は脳梗塞が多いことが示されています。原因として、夏場の高温による脱水が考えられています。

予防は熱中症対策と同様です。出来るだけ暑さを避けること、水分補給することが大切です。

もし脳梗塞が疑われる場合には、早期発見・早期治療が有効ですので、たとえ症状が軽度であっても、早めに医療機関を受診してください。



## 「熱中症について」

熱中症は高温多湿な環境で起こる体調不良です。屋内外問わずみられます。めまい、立ちくらみ、頭痛、筋痛、気分不良などが出現します。

熱中症が疑われる場合には、涼しい場所での安静と十分な水分補給が必要です。水分と一緒に塩分も補給しましょう。

自力で水分摂取ができない、意識がぼんやりする場合は、生命に関わることもあります。医療機関を受診しましょう。

熱中症は、予防が大事です。受付に厚生労働省リーフレットを用意しています。是非、ご参照ください。

### 熱中症予防のために

**暑さを避ける**

室内では・・・  
 ▶ 扇風機やエアコンで室温を調節  
 ▶ 涼しいカーテン、すだれ、打ち水を利用  
 ▶ 室温をこまめに確認  
 ▶ WSDT値を参考に

外出時には・・・  
 ▶ 日傘や帽子の着用  
 ▶ 日陰の歩行、こまめな休憩  
 ▶ 天気の良い日は、日中の外出をできるだけ控える

からの熱中症を避けるために  
 ▶ 適度な歩み、休憩、通気性のある衣服を着用する  
 ▶ 保冷剤、氷、冷たいタオルなどで、からだを冷やす

※WSDT値は、湿度、気温、輻射熱から算出される暑さの指標  
 暑さや湿度の指標として広く活用されています。  
 気象庁のホームページ（暑さ指数予測マップ）に、暑さと湿度の指標が掲載されています。

**こまめに水分を補給する**

室内でも、外出時でも、のどの渇きを感じなくても、こまめに水分・塩分、経口補水液などを補給する  
 ※熱中症予防の観点から推奨

「熱中症」は、高温多湿な環境に長時間に居ることで、徐々に体内の水分や塩分のバランスが崩れ、体温調節機能がうまく働かなくなり、体幹に熱がこもった状態を指します。屋外だけでなく室内でも起る可能性も高く、めまい、立ちくらみ、頭痛、吐き気、嘔吐、倦怠感、意識障害、いづれもと様子が違う場合には、医療機関を受診し、適切な治療を受けましょう。

熱中症について正しい知識を身につけ、体幹の温度変化をしっかりと見守り、適切な対応をとり、熱中症による健康被害を予防しましょう。

熱中症の症状  
 ◎めまい、立ちくらみ、手足のしびれ、顔面のかむらざり、気分が悪い  
 ◎頭痛、吐き気、嘔吐、倦怠感、意識障害、いづれもと様子が違う場合には、医療機関を受診し、適切な治療を受けましょう。

詳しくは、厚生労働省ホームページ「熱中症情報」をご覧ください。  
 厚生労働省 熱中症 検索

〒870-0831  
大分市要町8-16



おおば  
脳神経外科・頭痛  
クリニック  
Neurosurgery & Headache

電話:097-578-8333  
FAX:097-578-8318

8 AUG 2022

7	S	M	T	W	T	F	S	9	S	M	T	W	T	F	S	10	S	M	T	W	T	F	S
	3	4	5	6	7	8	9		4	5	6	7	8	9	10		2	3	4	5	6	7	8
	10	11	12	13	14	15	16		11	12	13	14	15	16	17		9	10	11	12	13	14	15
	17	18	19	20	21	22	23		18	19	20	21	22	23	24		16	17	18	19	20	21	22
	24	25	26	27	28	29	30		25	26	27	28	29	30		23	24	25	26	27	28	29	

sunday	monday	tuesday	wednesday	thursday	friday	saturday
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11 山の日	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

← 夏季休診 (8/11-15)